
第2回名古屋大学情報基盤センター ネットワーク型共同研究シンポジウム

「大規模可視化・遠隔可視化の利活用」

学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点（JHPCN）はネットワーク型共同利用・共同研究拠点として、我が国の学術・研究基盤の更なる高度化と恒常的な発展に資することを目的とし、超大規模計算機と超大容量のストレージおよび超大容量ネットワークなどの情報基盤を用いて、人類が直面する様々な問題の解決・解明を図る共同利用・共同研究を実施してきました。

JHPCN 構成拠点である名古屋大学情報基盤センターでは、共同利用・共同研究の成果を広く普及させ、我が国の高性能計算技術をさらに高度化することを目的としてシンポジウムを開催いたします。

第2回となる今回は、平成27年度採択課題「大規模データ系のVR可視化解析を効率化する多階層精度圧縮数値記録(JHPCN-DF)の実用化研究」（拠点課題ID: jh150002-NA01）の中で行ってきた高精細大規模可視化や遠隔可視化の検討結果を紹介し、国内の大規模可視化システム間での連携利活用や遠隔可視化システムの実務的な利活用の展開、それらに対してネットワーク型共同利用・共同研究拠点が果たすべき役割などについて議論することを目的とします。また、大規模可視化・遠隔可視化技術に関するワークショップも併設して開催いたします。

主催：名古屋大学情報基盤センター

共催：平成27年度採択課題「大規模データ系のVR可視化解析を効率化する多階層精度圧縮数値記録(JHPCN-DF)の実用化研究」（拠点課題ID: jh150002-NA01）

開催要領

日時：平成28年2月16日(火) 13:00-17:30

※併設ワークショップ 10:00-12:00

会場：名古屋大学情報基盤センター1階可視化室

（〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町）

※名古屋市営地下鉄名城線「名古屋大学駅」下車徒歩5分

参加費：無料

定員：20名

申込方法：事前申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

お問い合わせ先（事務局連絡先）

名古屋大学情報基盤センター 大規模計算支援環境研究部門 荻野正雄

〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町

Tel. 052-789-5899

E-mail. masao.ogino@cc.nagoya-u.ac.jp

プログラム

10:00-12:00 大規模可視化・遠隔可視化技術に関するワークショップ

13:00-17:30 ネットワーク型共同研究シンポジウム

13:00-13:10 主催者挨拶

13:10-13:20 趣旨説明

萩田 克美 防衛大学校・講師 (jh150002-NA01 課題代表者)

13:20-14:00 「名大の可視化システム（大規模・遠隔可視化）紹介とデモ」

高橋 一郎 名古屋大学情報基盤センター・情報基盤課係長

14:00-14:40 「核融合研の可視化システム（CAVE）紹介とデモ」

大谷 寛明 核融合科学研究所・准教授

(14:40-15:00 休憩)

15:00-15:20 「阪大/神戸大/JAMSTEC の可視化システム（大規模・CAVE）レビュー」

萩田 克美 防衛大学校・講師

15:20-15:50 「名大遠隔可視化システムを利用した大規模可視化処理とデモ」

大宮 学 北海道大学情報基盤センター・教授

15:50-16:10 「名大遠隔可視化システムの WiMAX 回線経由での利用デモ」

高橋 一郎 名古屋大学情報基盤センター・情報基盤課係長

(16:10-16:30 休憩)

16:30-17:10 「遠隔可視化システムを用いた HPC-based CoWork Space の実現計画

～2次元散乱パターン RMC 解析の共有作業環境構築の検討～」

萩田 克美 防衛大学校・講師

16:50-17:20 パネルディスカッション

「遠隔可視化や大規模可視化、装置間連携に関するパネルディスカッション」

進行役： 荻野 正雄 名古屋大学情報基盤センター・准教授